



== 八戸聾学校 ==

学校だより

== 令和6年10月31日 ==



「ものより思い出」

校長 小笠原 一 恵

みなさん、もうすっかり秋ですね。夕暮れも早くなってきました。秋になって、夏の楽しい思い出が懐かしく感じられますね。7月24日に「アイラブ・はちのへ」で、みなさんは三つのコースに分かれて八戸を巡りました。八戸の海や神社、市場など、いろいろな場所を訪れました。行ったことがある場所もあったかもしれませんが、聾学校や盲学校の友達や先生と一緒に行ったことはなかったですね。この経験は、後でとても懐かしく、そして大切な宝物になると思います。

海コースでは、種差の海でかに釣りをしました。するめでかにを釣るのは楽しかったですね。岩がごつごつしていて歩くのが大変だったかもしれませんね。燕島には、たくさんのうみねこがいましたか。

山コースでは、ブルーベリー農園に行きましたね。自分で摘んだブルーベリーの味は格別だったでしょう。櫛引神社では、静かな雰囲気の中で国宝の鎧を見たことが印象深かったのではないのでしょうか。

わんぱくコースでは、電車とバスの旅を楽しみました。窓から見える風景を楽しみながら、おしゃべりをし、ハ食センターでは新鮮な海産物や地元の特産品を見て回りましたね。

体験したことや勉強したことは、自分の頭や体に大切な記憶として残ります。それは、自分だけのものでもありますが、誰かと一緒に共有することもできます。先生や友達と一緒に過ごした時間や、共に笑ったり驚いたりした瞬間は、何物にも代えがたい貴重なものです。

思い出は、物とは違って色あせることはありません。むしろ、時間が経つほどにその価値は増していきます。新しい場所を訪れたり、新しいことに挑戦したりすることで、もっと楽しい毎日を送ることができるでしょう。これからも、たくさんの思い出を作っていきましょう。



幼稚園

おいもほり



10月8日(火)おいもほりをしました。絵本の中のぶたさんのように「いもいもほりほり!」「いもいもほりほり!」大きなかけ声を掛けました。力いっぱい引っ張ると、小さなおいもや大きなおいも、細いおいもや長いおいも…。やきいも会が楽しみです。



小学部

ヴァンラーレ八戸のサッカー教室

10月4日(金)、八戸市スポーツ大使ふるさとセミナーによるサッカー教室を行いました。今回はヴァンラーレ八戸の営業・強化担当の金井隆太さんが来校してくださいました。サッカーボールを使った運動やリレーをした後、2チームに分かれて行った試合では、息を切らしながらも、最後までボールを追いかけて続け、白熱した戦いになりました。また、来ていただきたいです。



中学部

～遠足～

9月26日(木)に遠足で、種差少年自然の家に行ってきました。2人ずつに分かれ、矢印を探しながらデイハイクに挑戦！小雨の降る中でしたが、全員笑顔で戻ってくることができました。マイナスイオンをいっぱい浴びた後のお昼ご飯はいつもに増して美味しかったです。



レッツゴー！



無事戻りました！



最後はしっかり振り返り。

寄宿舎

今年も

棒パンを焼きました (10/17)

秋の日差しの下、恒例の「棒パン作り」を行いました。早く下校した子どもたちは、竹の棒にアルミホイルを巻く作業を手伝いました。最初は戸惑いながらも、次第に慣れて器用に巻けるようになりました。伸ばしたパン生地を棒に巻き付けて、それぞれが工夫を凝らし、オリジナルのパンを作っていました。握りしめた竹の棒を炭火の上でゆっくり回すと、次第にパンが膨らんでこんがり色づいていきました。子どもたちの目は輝き、その様子をじっと見つめていました。焼き上がったアツアツのパンをフーフーと冷ましながら、そのまま食べる子、ジャムやチョコをつける子、そして今回は特に人気だったあんこを楽しむ子もいました。皆が「おいしい!」と笑顔で頬張り、自分のパンに満足げでした。秋の一日、子どもたちの好奇心と笑顔があふれる時間となりました。



渉外部

しおざい家庭教育学級

「フライパンピザ作り」



10月6日(日)に種差少年自然の家で、しおざい家庭教育学級を開催しました。天候に恵まれ、家族で楽しみながらピザを作りました。

【参加した方の感想】

- ・火おこしの手伝いなど、普段はできないことを経験できてよかった。
- ・子どもたちが協力し合っていてよかった。
- ・フライパンピザの手話がかわいらしく、みんなで覚えることができた。
- ・調理から片付けまで、「自分でやる」ことがいい経験になった。
- ・子どもと会話のきっかけが生まれ、参加してよかった。

